

白石市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略

施策の概要と主な取り組み

白石市「人口ビジョン」

生産年齢人口の減少による労働力の縮小、経済活力の低下や、老年人口の増加による医療・福祉への費用の増加といった人口減少や少子高齢化等による問題・課題を克服し、市民の安定的な暮らしの実現や市の持続可能な発展の実現を目指します。

白石市の人口の現状

- 総人口は減少傾向にあり核家族化が進行。
- 生産年齢人口の割合は概ね横ばいであるが、少子高齢化が急速に進展。
- 自然減（出生数-死亡者数）が進行
- 合計特殊出生率は 1.36 で、概ね低下傾向にあり、宮城県平均 1.29 より高いが全国平均 1.38 より低い。
- 社会動態は転出超過が継続。
- 総人口が減少傾向にある中、白石地区の構成比が一貫して高い。
- 人口移動の状況は、転出・転入とも仙台市が最も多い。



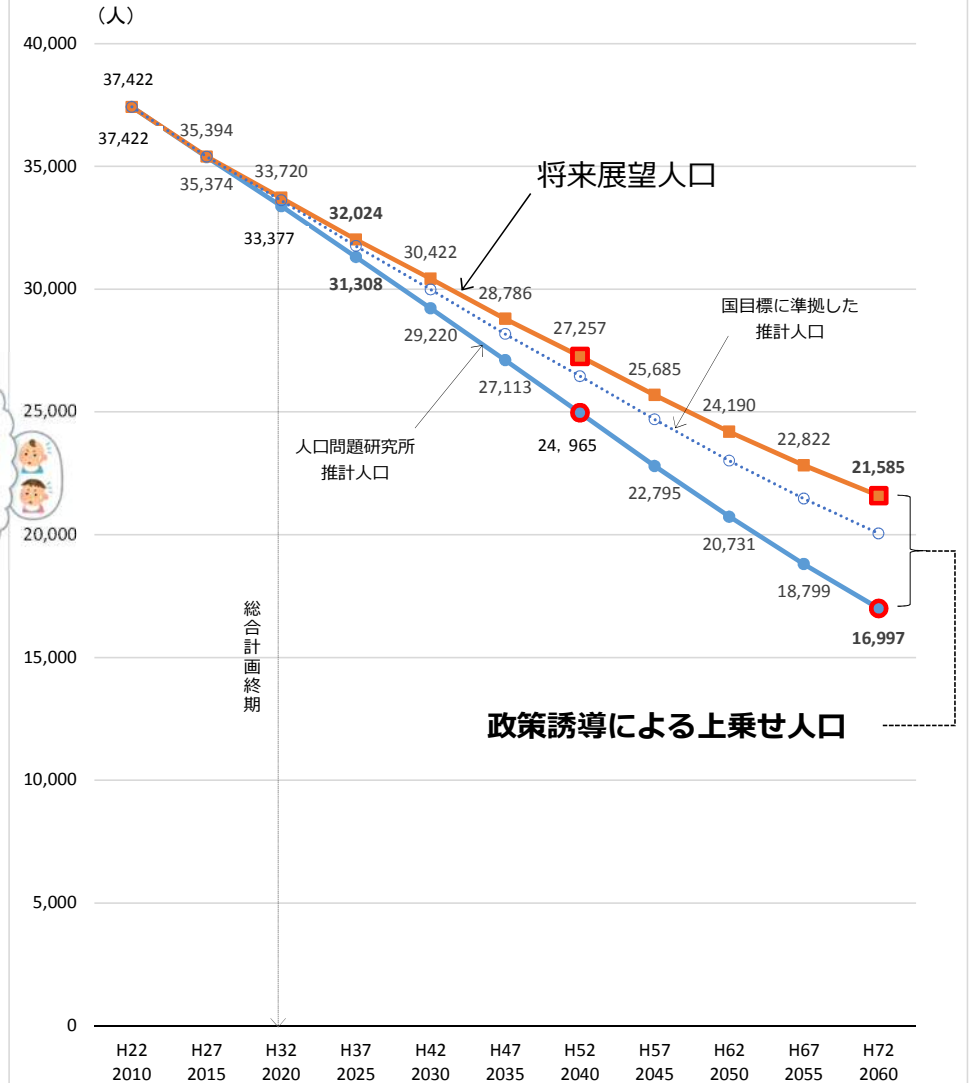
将来展望人口

2060年（H72）：21,585人

- 合計特殊出生率が国の目標水準（2020年：1.6、2040年：1.8、2060年：2.1）まで高まるような出産子育て支援をはじめとする施策の充実。
- 若者のUIJターンの促進や子育て世代の定住促進など、施策誘導による社会減の改善。（年少・生産年齢人口が2015-2020年の5年間で100人増、2020年以降は5年毎で150人増を見込む。）



将来展望人口と推計人口の比較



「第五次総合計画」から「総合戦略」へ

第五次白石市総合計画

〈白石の目指すべき姿〉

市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、
ふるさと白石に誇りをもてるまちづくりを進めます。

〈テーマ〉

人・暮らし・環境が
活きる
交流拠点都市づくり

〈戦略1〉

交流を育む
地域の人材力の
強化

- おもてなしの心の磨き上げと蓄積
- 伝統的な知恵、技の継承と価値の向上
- 地域づくりマネージャーの育成

〈戦略2〉

交流を活かし、
創造する
白石ブランドの
構築

- 暮らしを支えるコミュニティの強化
- 地域産業の活性化による雇用の拡大、創造
- 交流から生まれる新たな定住・移住の推進

〈戦略3〉

交流を支える
ネットワーク基盤の
構築

- 魅力ある「白石イメージ」の確立
- 地域資源のフル活用と観光交流基盤の整備
- 豊かな自然環境と景観の保全

白石市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」

〈基本目標1〉

産業の活力を生む
新しい価値を創造し続ける
まちづくり

—白石市において
安定した雇用を創出する—

〈基本目標2〉

市民が主役になって
地域をつくり、交流を楽しむ
まちづくり

—白石市への
新しい人の流れをつくる—

〈基本目標3〉

安心して子どもを産み育て
心安らかに暮らせるまちづくり

—若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる—



〈基本目標4〉

美しい自然を受け継ぎ、
安全で快適に過ごせる
まちづくり

—時代にあった白石市をつくり
安心な暮らしを守る—



総合戦略：基本目標1 産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり

—白石市において安定した雇用を創出する—

既存企業のニーズの把握を基に、企業存続の支援に努めるとともに、創業・起業支援と人材育成に取り組み、地元雇用の確保・拡大を推進します。

数値目標
○年間就職件数：1,200人（平成31年度）
○市内事業所従業者数：13,500人（平成31年）

- 企業・市民に対して雇用につながる情報等の提供
- 若者等の雇用企業に対する支援を推進
- 創業・起業、事業拡大を図ろうとする企業や起業家に対して総合的支援を実施

雇用確保と
創業・起業促進のための
支援の充実

白石市において
安定した雇用を
創出する

若年層に対する
人材育成の支援と
地元就職・地元居住
の確保

農林業生産の
6次産業化促進と
担い手の育成

- 大学等卒業後も市内に居住し安心して働ける環境づくり
- 若年層の市内企業に対する認知度・理解度を高め、地元就職・地元居住を確保・推進

- 農林業生産の6次産業化促進による新たな産品開発と販路の拡大
- 地域農業の「見える化」等の推進
- 農林業の担い手の育成と新たな雇用の創出

主な施策・取組み

基本的方向(1) 雇用確保と創業・起業促進のための支援の充実

1)地方創生事業（先行事業）	①白石市公式ホームページリニューアル事業 ②伝統産業映像アーカイブ事業
2)地方創生事業（新規事業）	③創業・事業拡大等支援窓口設置 ④新規出店応援事業
3)地方創生事業（継続事業）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業立地奨励金 ➢ 企業立地投資奨励金 ➢ 企業立地雇用促進奨励金 ➢ 企業立地緑化推進奨励金 ➢ 再就職促進奨励金 ➢ 商店街活性化対策助成金 ➢ 中小企業振興資金融資信用保証料補給金 ➢ 中小企業振興資金融資制度貸付金

基本的方向(2) 若年層に対する人材育成の支援と地元就職・地元居住の確保

1)地方創生事業（先行事業）	⑤伝統工芸品後継者育成事業
2)地方創生事業（新規事業）	⑥進学応援奨学金制度 ⑦実践力育成インターンシップ事業
3)地方創生事業（継続事業）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 伝統こけし工人後継者育成事業 ➢ 白石藩倶楽部事業

基本的方向(3) 農林業生産の6次産業化促進と担い手の育成

2)地方創生事業（新規事業）	⑧6次産業化促進による新たな産品開発と販路の拡大 ⑨地域農業の「見える化」促進 ⑩農林業体験事業の推進
3)地方創生事業（継続事業）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 青年就農給付金 ➢ 担い手育成資金利子補給金補助金 ➢ 公設市場跡地活用促進事業 ➢ 農産物直売所販売調査事業

総合戦略：基本目標2 市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり —白石市への新しい人の流れをつくる—

新たな産業の誘致に伴う定住・移住を推進するとともに、白石城を中心とする多彩な地域資源を徹底活用した観光交流に注力し、来街を契機に定住・移住につなげていきます。

数値目標

- 年間観光客入込数：100万人（平成31年）
- 年少人口及び生産年齢人口の社人研推計からの増加数：5年間で100人



- ・定住・移住支援策の提供・充実
- ・児童・生徒が市内に定住・就職する意向を持てるよう、市内の人材・企業の協力を得て、児童・生徒を対象とした企業見学や講座を実施

定住・移住者の増加実現

定住・移住支援策の拡充

白石市への新しい人の流れをつくる

- ・若者の異性と知り合うきっかけづくりや仲間づくりを支援
- ・仲間づくりを通じた交際さらには結婚への支援を実施



地域資源をフル活用した着地型観光による交流人口増の実現

- ・市内の多彩な地域資源を観光資源として活用
- ・地元ならではの観光プログラムを構築し、積極的なPRを実施

広域連携による観光振興事業の展開

- ・周辺都市や隣接県、姉妹都市等と広域連携
- ・共通する地域資源や歴史資源等の観光交流資源を活用して、観光振興事業を国内外で展開

主な施策・取組み

基本的方向(1) 地域資源をフル活用した着地型観光による交流人口増の実現

1)地方創生事業 (先行事業)	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 甲冑のまち事業 ①-2 多言語案内ホームページ ①-3 【再掲】白石市公式ホームページリニューアル事業 ①-4 【再掲】伝統産業映像アーカイブ事業 ①-5【追加】「しろいし情報館」の設置による情報発信の強化
2)地方創生事業 (新規事業)	<ul style="list-style-type: none"> ②自然体験事業 ③オフシーズン白石スキー場活用事業（スポーツ・レジャーの振興） ④地域再発見プロジェクト等に対する支援
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 観光情報等発信事業 ➢ フィルムコミッション推進事業 ➢ 観光開発宣伝事業 ➢ 街中交流施設観光案内事業 ➢ 観光案内業務強化事業 ➢ 地域交流人口促進事業 ➢ 姉妹都市等との交流事業

基本的方向(2) 広域連携による観光振興事業の展開

1)地方創生事業 (先行事業)	⑤-1 みちのく真田ゆかりの地事業
2)地方創生事業 (新規事業)	⑤-2 姉妹都市等との連携による観光振興事業 ⑤-3【追加】2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域振興事業の実施
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国道113号観光推進協議会による共同宣伝 ➢ 姉妹都市イベントへの参加 ➢ 観光大使によるPR

基本的方向(3) 定住・移住支援策の拡充

1)地方創生事業 (先行事業)	⑥-1 定住促進事業（定住者補助金・定住紹介奨励金・住宅取得補助金）
2)地方創生事業 (新規事業)	<ul style="list-style-type: none"> ⑥-2 子育て応援住宅整備事業 ⑥-3 新幹線通勤助成事業 ⑦将来の夢を見つけ実現を手伝う事業 ⑧若者向け仲間づくり応援事業
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 転入者等支援市営住宅補助金 ➢ 新婚家庭家賃補助金

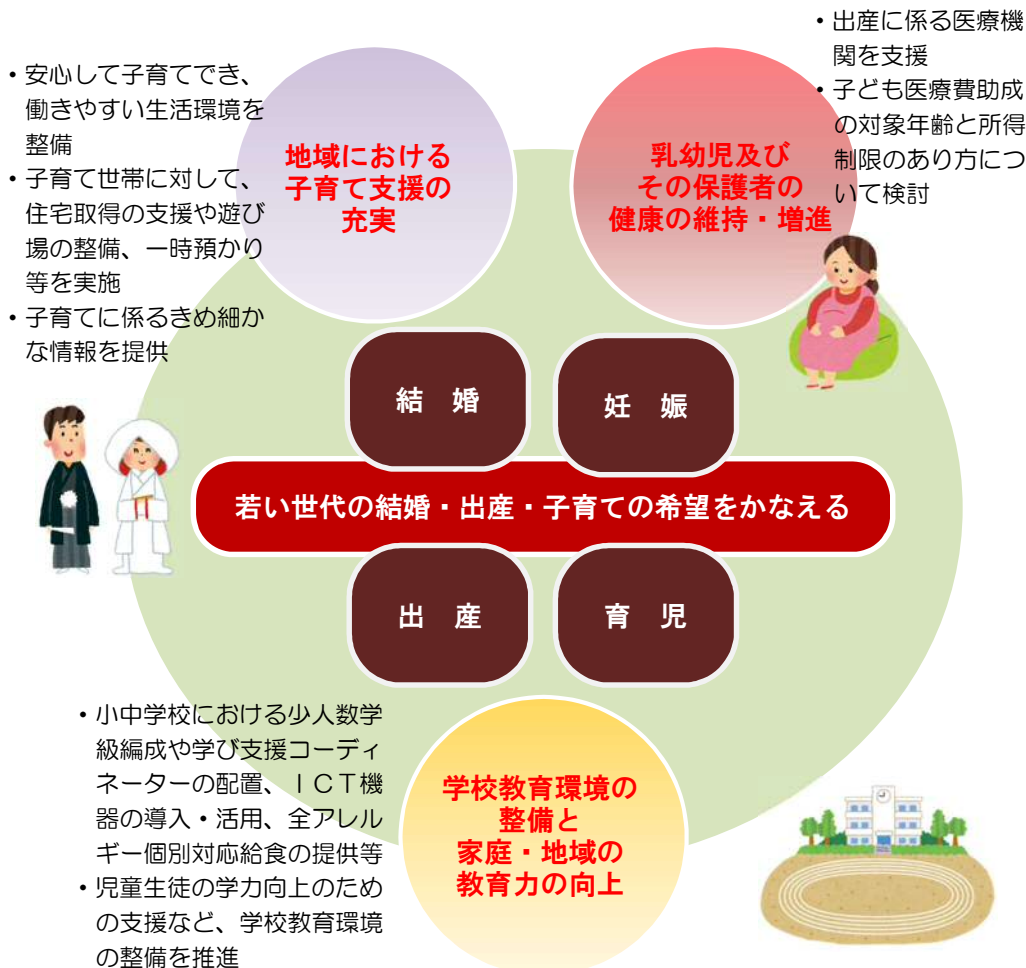
総合戦略：基本目標3 安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり

—若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる—

子育て家庭の経済的負担の解消や医療、保育など、まちぐるみで保育・子育て支援サービスの充実に努め、安心して子育てができるまちを実現します

数値目標

- 白石市の合計特殊出生率：平成 25～29 年まで 1.60
- 子どもを産み育てやすい環境だと感じる市民割合：70%（平成 31 年度）



主な施策・取組み

基本的方向(1) 地域における子育て支援の充実

1)地方創生事業 (先行事業)	①-1【再掲】白石市公式ホームページリニューアル事業
2)地方創生事業 (新規事業)	①-2 子育て情報発信 ①-3【追加】「子育てコーディネーター」の配置 ②-1【再掲】子育て応援住宅整備事業 ②-2 一時預かり事業 ②-3 子育て労働者世帯に対する支援 ③-1 屋内あそび場整備事業 ③-2 白石プレーパーク事業 ③-3 ベビーズヴァカンスタウンしろいし事業
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 誕生祝い金の贈呈 ➢ 誕生祝育児用品購入券（すくすくベビー券）の贈呈 ➢ 第3子以降幼稚園・保育園保育料無料化 ➢ 市立認可外保育園保育料第3子助成金 ➢ ファミリーサポートセンター運営 ➢ 子育て支援センター運営 ➢ ふれあいプラザ運営 ➢ 児童館・放課後児童クラブの運営・補助



基本的方向(2) 乳幼児及びその保護者の健康の維持・増進

2)地方創生事業 (新規事業)	④-1【修正】子ども医療費助成の拡充 ④-2 産科医療機関の支援
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 子ども医療費助成 ➢ 赤ちゃん誕生応援事業 ➢ 妊婦健診助成（県外医療機関受信者） ➢ 特定不妊治療費補助 ➢ 任意の予防接種事業の費用助成

基本的方向(3) 学校教育環境の整備と家庭・地域の教育力の向上

2)地方創生事業 (新規事業)	⑤-1 学力向上フォローアップ事業 ⑤-2【追加】語学指導事業の拡充
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 少人数学級編成等サポート事業 ➢ 学び支援コーディネーター等配置 ➢ 学力定着度調査の実施 ➢ ICT機器導入・活用事業 ➢ 全アレルギー個別対応給食の提供

総合戦略：基本目標4 美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまちづくり

—時代にあった白石市をつくり、安心な暮らしを守る—

市内9地区において身近な生活拠点を形成し、同時に、各地区をネットワークする公共交通・情報網を構築することで、車がなくても暮らしやすいまちを実現します。

数値目標

- 白石に住みたい・住み続けたいと思う市民の割合：70%（平成31年度）
- 公共施設等総合管理計画への理解度：70%（平成31年度）

主な施策・取組み

基本的方向(1) 身近な暮らしを支える地区生活拠点の形成

2)地方創生事業 (新規事業)	①空き家等対策事業 ②地域協力活動事業（地域おこし協力隊）
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業 ➢ 自主防災組織補助金 ➢ 【再掲】ふれあいプラザ運営 ➢ 公共施設等管理総合計画の策定

基本的方向(2) 市内交通・情報ネットワークの構築

1)地方創生事業 (先行事業)	③【再掲】白石市公式ホームページリニューアル事業
2)地方創生事業 (新規事業)	④地域公共交通網形成計画の策定 ⑤新庁舎建設に向けた準備
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 市民バス運行事業 ➢ 市民タクシー運行事業

基本的方向(3) 地域特性を生かした都市環境の整備

2)地方創生事業 (新規事業)	⑥遊休地・未利用地の活用検討 ⑦白石駅周辺整備の検討 ⑧立地適正化計画の策定
3)地方創生事業 (継続事業)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ まちづくり交付金 ➢ 地域コミュニティ育成支援事業（やる気応援事業） ➢ 公園施設長寿命化計画策定調査 ➢ 「城花町しろいし」事業

- ・市内9地区で、空き家対策を推進し、身近な暮らしを支える生活拠点を形成
- ・地域支え合いや地域協力活動を推進



- ・市内9地区を連携する交通ネットワークや情報ネットワークの構築を推進
- ・ネットワークの要となる市役所について、市民の利便性向上とランニングコスト縮減を図るため、分散する施設を集約した新庁舎建設に向け準備

- ・移住・定住の促進等に寄与するための遊休地・未利用地の利活用について検討
- ・老朽化した東西自由通路のあり方を検討
- ・JR白石駅周辺の活性化・賑わいづくりについて検討
- ・居住機能や都市機能の立地等に関する包括的なマスタープランを策定